

## ワンキー・マウス操作ガイド

Rev.6.64

## ◎ 概要

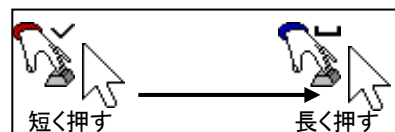
ワンキー・マウスは操作のすべてを1つのスイッチで行うことができるマウスです。  
Windows、macOS、Android、iOS(iOS13/iPadOS13 以降)で動作します。

## ◎ 接続

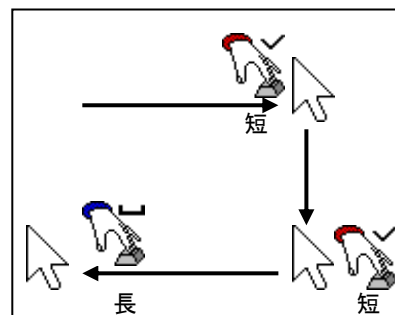
- 「スイッチ」ジャックに操作用スイッチを接続します。
- コンピュータが起動した状態で USB ポートにワンキー・マウスを接続します。
- 数秒後に ワンキー・マウスのブザーが「ピッ」と鳴ればインストール完了です。

## ◎ カーソル操作

- スイッチを短く押すとマウスカーソルが動きだします。「・」
- スイッチを長く押すとカーソルは止まります。「ー」

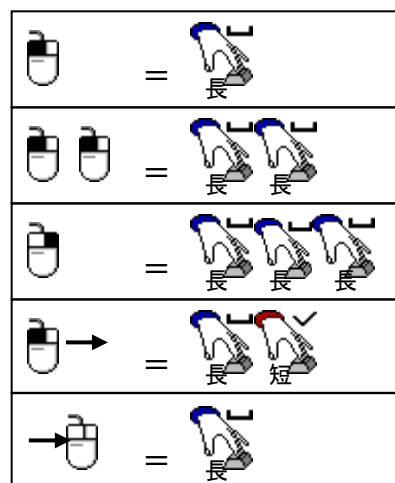


- カーソルが動いている時にスイッチを短く押すと、移動方向が直角に変わります。「・」
- 移動方向はスイッチを押すごとに右ー下ー左ー上ー右...と変わってゆきます。「・ ・ ・」
- カーソルが希望の位置に来たらスイッチを長く押ししてカーソルを止めます。「ー」



## ◎ クリック操作

- 左クリック操作はカーソル停止中スイッチを長く押します。「ー」
- ダブルクリック操作はスイッチの長押しを2回続けます。「ーー」
- 右クリック操作は長押しを3回続けます。「ーーー」
- ドラッグ操作はスイッチ長押し後すぐ短く押します。「ー・」
- ドラッグの終了(ドロップ)はドラッグ動作中スイッチを長く押ししてカーソル移動を止めると行われます。「ー」



## ◎ その他

- スイッチを短長「・ー」と続けて押すとカーソル移動スピードが通常/スロー交互に変わります。
- 付属ディスクのソフトでスピード、移動方向などの設定を自分で変更することができます。
- 付属ディスク内の取扱説明書に設定変更の方法や便利な機能が載っています。
- 付属ディスクにおさめられたファイルの最新版がキキルームホームページにあります。

<http://kikiroom.cool.coocan.jp/manual.htm>



## 追加機能・補足説明


## ● 目次

1. <a href="#">スピード／加速変更</a> ……………2	12. <a href="#">設定ソフトを起動できない</a> ……………8
2. <a href="#">スクロール</a> ……………3	13. <a href="#">起動時に「ピピピ」と鳴る</a> ……………8
3. <a href="#">節電</a> ……………4	14. <a href="#">スマートフォン(iOS、Android)での使用</a> ……………9
4. <a href="#">接続先切り換え(Android モード)</a> ……………4	15. <a href="#">設定ソフトを使用せず設定できる項目</a> …10
5. <a href="#">セーフティモード</a> ……………5	16. <a href="#">設定変更ソフト／Web アプリ</a> ……………10
6. <a href="#">拡大・縮小(ピンチアウト・ピンチイン)</a> …6	17. <a href="#">設定表示アプリ</a> ……………11
7. <a href="#">スワイプ(ロック解除)</a> ……………6	18. <a href="#">オフディレイ(ばたつきキャンセル)</a> ……………11
8. <a href="#">設定ソフトの表示と実際の設定内容</a> …7	19. <a href="#">iOS モード</a> ……………11
9. <a href="#">ケータイ打ち(連打／長押し)</a> ……………7	20. <a href="#">スクリーンキーボード表示・非表示</a> …12
10. <a href="#">設定切り換え</a> ……………7	21. <a href="#">Ctrl キーを押しながらの操作</a> ……………12
11. <a href="#">コピー／ペースト／長押し</a> ……………8	◆ <a href="#">スイッチ操作一覧</a> ……………14

## 1. スピード／加速変更

- 設定ソフトを使用せずスイッチ操作でカーソルスピードを変えられます。
  1. スイッチを「— — — —」(長長短長)と続けて押すと、カーソル移動スピードが一段階速くなります。
  2. スイッチを「— — — —」(長短長長)と続けて押すと、カーソル移動スピードが一段階遅くなります。
  3. 同じ操作を行うごとにスピードが変化します。
  4. 一段階あたりのスピードの変化量が設定ソフトより小さいため、細かいスピード設定ができます。
  5. 設定したスピードは記憶され次回の起動時に変更後のスピードで動作します。
  6. 設定ソフトでカーソル移動スピードを変えると、上記変更は解除され、設定ソフトによるスピードで動作します。
  
- カーソル移動開始時の低速移動スピード、低速移動時間、加速時間を変えられます。
  1. 移動開始時、カーソルは一定時間低速で移動し、その後設定したスピードまで加速します。
  2. 移動開始時のスピードはスイッチを「— —」(短長)と押したときの低速移動スピードと同じです。
  3. スイッチを「— — — — —」(長短長長長)と押すと、低速移動スピードが一段階速くなります。
  4. スイッチを「— — — — —」(長短長長短)と押すと、低速移動スピードが一段階遅くなります。
  5. スイッチを「— — — — —」(長短長短短)と押すと、低速移動の時間が一段階短くなります。
  6. スイッチを「— — — — —」(長短長短長)と押すと、低速移動の時間が一段階長くなります。
  7. スイッチを「— — — — —」(長短短長長)と押すと、加速時間が一段階短くなります。
  8. スイッチを「— — — — —」(長短短短長)と押すと、加速時間が一段階長くなります。
  9. 設定ソフトの「終了／変更」(一番下の項目)で「4: 標準値に戻す」を実行すると、これらの変更は初期化されます。(他の設定も初期化されるので再設定を行ってください)
  
- ワンキー・マウスを使い慣れた方が反応を遅く感じる場合
  1. 出荷時の設定は、PCやスイッチを使うのが初めての方でも操作できるよう、遅めの設定です。カーソル移動開始時のスピードが遅く感じる場合は、以下の設定を変えてみてください。
    - ◇ 低速移動スピードを上げ 「— — — — —」
    - ◇ 低速移動時間を短く 「— — — — —」
    - ◇ 加速時間を短く 「— — — — —」
  2. 最速最短に設定すれば、移動開始時から最終速度で動くようになります。
  3. 最終速度は設定ソフトまたはスイッチ操作「— — — —」で速くできます。
  4. 設定ソフトで「短押し後連続操作時間」を短くすると、短押しで スイッチを離してからカーソルが動き出すまでの時間が短くなります。

## 2. スクロール操作

- 三種類のスクロール操作方法があります。
- スイッチを「**ー**」**ー**」「**ー**」**ー**」と押す方法
  1. スイッチを「**ー**」**ー**」(長短長)と押すと、マウスのスクロールホイールを手前に回す操作となり、Windows と Android の場合は画面が下へ流れ、文書の下の方が見えるようになります。macOS と iOS の場合は画面が上へ流れ、文書の上の方が見えるようになります。
  2. スイッチを「**ー**」**ー**」(長短長短)と押すと、マウスのスクロールホイールを奥に回す操作となり、Windows と Android の場合は画面が上へ流れ、文書の上の方が見えるようになります。macOS と iOS の場合は画面が下へ流れ、文書の下の方が見えるようになります。
  3. Mac 用設定「**ー**」**ー**」にするとスクロール量が大きくなります。(スクロールの方向は変わりません)
  4. スクロール量は「コントロールパネル」(Windows)、「システム環境設定」(macOS)の「マウス」でも調節できます。
    - ◇ 拡張
      5. 連続してスクロール操作ができるよう設定を変えることができます。
      6. スイッチを「**ー**」**ー**」**ー**」と押したときの動作は、上記1～4と同じです。
      7. いちどスクロール動作が行われると、待機状態になります。
      8. 待機状態でスイッチを短く1回押すと、6の操作と同じ方向に連続してスクロールが行われます。
      9. 連続スクロール中にスイッチを短く1回押すと、スクロールが止まり、7の待機状態になります。
      10. 待機状態または連続スクロール中にスイッチを短く2回続けて押すと、今までと逆の方向に連続スクロールが行われます。
      11. 待機状態または連続スクロール中にスイッチを長く1回押すと、通常のカーソル操作に戻ります。
      12. 拡張設定の方法
        - (1) 操作スイッチを「**ー**」**ー**」(長押し6回)と押してください。  
これは設定ソフトの起動操作ですが、設定ソフトなしで設定を行います。  
セーフティモード以外のどのモードでも設定できます。
        - (2) カーソルが上下左右に細かく動きます。カーソルが停止するまで15秒ほど待ってください。
        - (3) 拡張なしからありにしたい場合、連続スクロール中のスクロールスピードを大きくしたい場合は、操作スイッチを「**ー**」**ー**」(長短長)と押してください。  
ブザーが設定値と同じ回数鳴って設定が変わります。「ピー」と1回鳴った場合はスクロールスピードの上限です。
        - (4) 連続スクロール中のスクロールスピードを小さくしたい場合は、操作スイッチを「**ー**」**ー**」(長短長短)と押してください。ブザーが設定値と同じ回数鳴って設定が変わります。  
拡張機能なしにしたいときは、「ピー」と1回鳴るまで「**ー**」**ー**」(長短長短)を繰り返してください。
        - (5) 操作スイッチを「**ー**」**ー**」(長3回)と押すと、通常状態に戻ります。
- スクロールボタンのクリック操作で行う方法 (Windows)
  1. 設定ソフトで「長押し3回の機能」または「長押し4回の機能」を「3: 左右両クリック」に設定します。
  2. スイッチを「**ー**」**ー**」(長押し3回)または「**ー**」**ー**」(長押し4回)と押すと、スクロールボタンのクリック操作が行われ、アプリケーションソフトが対応している場合、カーソル位置に右図のようなアイコンが現れます。
 
  3. 2の状態からカーソルを上を動かすと、画面が上へスクロールします。
  4. 2の状態からカーソルを下を動かすと、画面が下へスクロールします。
  5. スクロール操作は、スクロール(カーソル移動)停止後、長押し1回(クリック)で終了します。

- スクロールボタンのドラッグ操作で行う方法 (Windows)
  1. Adobe Reader でスクロール操作を行うにはこの方法が適しています。
  2. 設定ソフトで「長押し3回の機能」または「長押し4回の機能」を「7:画面左下端にジャンプ」に設定します。(追加した機能のため表示と実際の機能が異なります)
  3. スイッチを「―――」(長押し3回)または「―――」(長押し4回)と押すと、スクロールボタンが押されたままの状態(ドラッグ)となり、アプリケーションソフトが対応していれば、カーソルが右図のように変わります。
  4. 3の状態からカーソルを上へ動かすと、画面が上へスクロールします。
  5. 3の状態からカーソルを下へ動かすと、画面が下へスクロールします。
  6. スクロール操作は、長押し1回(クリック)またはスクロール(カーソル移動)停止で終了します。



### 3. 節電

- スイッチ操作を行わないで一定時間経過すると、節電状態になります。
- 別の方法として、操作スイッチを「―――」(長長短長長短)と押すと節電状態になります。
- 節電状態では PC/スマートホンとの接続が切れ、ごくわずかな電力消費になります。
- 節電状態でスイッチ操作を行うと通常状態に復帰します。
- PC で使用する場合、ワンキー・マウスが節電状態になり、PC もスリープ状態になると、スイッチ操作で復帰できなくなることがあります。その場合は節電を使用しないでください。  
一部のスマートホンでは、同じ理由で節電を使用できない場合があります。
- 節電までの時間は以下の方法で設定できます。
  1. 操作スイッチを「―――」(長長長長短短短短)と押ししてください。  
ブザーが一定間隔で繰り返し鳴ります。
  2. 操作スイッチを「―――」(長長長長短短長長)と押ししてください。  
設定値が+1され、新しい設定値の数だけ(1から4回)ちがう音でブザーが鳴ります。

ブザー	節電までの時間
1回	節電なし
2回	30秒
3回	3分
4回	10分

3. 設定値をさらに変えたい場合は、(2)を繰り返してください。
4. ブザー4回の次は1回(節電なし)に戻ります。
5. 操作スイッチを短く1回押すと、新しい設定で通常状態に戻ります。

### 4. 接続先切り換え

- スマートホンモード、セーフティモードへの切り換えをおこないます。(セーフティモードは次項参照)
  1. スマートホンモードは、ホームボタンなどのボタンが画面の外にあってマウスで操作できない端末でも、ボタン操作を行うことができるようにしたものです。ホームボタンが画面内にある端末や画面外にあってマウスで操作できる端末には PC モードが適しています。  
PC モード Android モードともに、ホームボタンは「―――」でも操作できます。また、スワイプ、拡大/縮小、ケータイ打ちは PC モードでも使用可能です。(PC が反応しない操作もあります)

2. スマートホンモード時のボタン操作

	「ー」	「ー」	「ー」
PC モード	ダブルクリック*1	右クリック*1	スクロールボタン*1
Android モード2/3	「ホーム」ボタン*2	「戻る」ボタン	「メニュー」ボタン*2*3

\*1 出荷時の設定 \*2 Android モード2と3で出力信号が異なります

\*3 Android のバージョンにより動作しない場合があります(メニューボタン自体が無いなど)

● 設定方法

3. スイッチを長4回短4回「ー」と続けて押すと、現在の設定内容によりブザーが1回から4回鳴ります。
4. この時点では接続先は切りかわりません。
5. ブザーは約2秒間隔で約20秒間繰り返し鳴ります。
6. スイッチを操作せず約20秒経過すると、通常状態に戻ります。
7. ブザーが繰り返し鳴っている間に、スイッチを短く1回押すと、通常状態に戻ります。
8. ブザーが繰り返し鳴っている間に、スイッチを長4回短4回「ー」と続けて押すと、接続先設定が順に切りかわり、ブザーの鳴る回数も変わって3の状態になります。
9. 接続先の設定は電源を切っても保持され、次回も同じ設定で起動します。
10. 接続先設定とブザー回数の対応は表の通りです。

ブザー回数	接続先設定	備考
1	PC	出荷時設定
2	PC(セーフティモード)	設定変更許可/禁止
3	スマートホン(Androidモード2)	
4	スマートホン(Androidモード3)	
5	iOS/iPadOS	<a href="#">19.iOSモード参照</a>

5. セーフティモード(設定変更許可/禁止)

- カーソルスピードなどの設定変更ができないようにしたモードです。操作スイッチの誤操作で設定が意図せず変わるのを防ぐことができます。
1. 接続先切り換え操作でセーフティモード(ブザー2回)に設定すると、セーフティモードとなります。(操作方法は「[4.接続先切り換え](#)」参照)
  2. セーフティモードでは、以下の操作が無効となります。

項目	内容
第2の設定へ切り換え	常に第1の設定で動作
設定ソフト起動	無効
スピード アップ/ダウン	許可時の設定内容で動作
低速移動スピード アップ/ダウン	
低速移動時間 短く/長く	
加速時間 短く/長く	
Mac/Win 切り換え	許可時の設定内容で動作
左長押し、コピー、ペースト、ホーム	無効

3. カーソルスピードなどの設定を変えたいときは、接続先切り換え操作を行って一旦PCモードに戻し、設定変更後に再び接続先切り換え操作を行ってセーフティモードにしてください。
4. セーフティモードからスマートホンモードへの切り換えは、一旦PCモードに切り換えて切り換え操作を終了し、再度切り換え操作を行ってください。(セーフティモードからはPCモードにのみ移行可能)

## 6. 拡大・縮小(ピンチアウト・ピンチイン)

- Android でタッチパネルを二本指でつまむピンチアウト・ピンチイン操作を代替します。
  1. ダブルクリックのスイッチ操作と、カーソル移動のスイッチ操作を続けて行くと、拡大・縮小操作になります。
  2. ダブルクリックを長押し2回に設定している場合は、長押し2回「ー」とカーソル移動の短押し「・」を、間を開けずに「ー・」と操作すると、ダブルクリック後ボタンが押されたままカーソルが右に移動を開始します。
  3. 次に、短押し1回「・」を行うと、カーソルの移動方向が下になり、画面が徐々に拡大します。
  4. 移動開始操作の「ー・」と、方向を変える短押し「・」は、「ー・・・」と続けて操作してもよく、その場合カーソルは右移動せず下移動から開始します。
  5. 縮小する場合は、2の「ー・」操作の後、カーソル上移動のために短押しを3回「・・・」行います。この場合も「ー・・・」と続けて操作することができます。
  6. 拡大・縮小の終了は、通常のカーソル操作と同じで長押し1回「ー」です。
  7. カーソルが画面の端まで行くとそれ以上拡大・縮小できなくなります。その場合は一旦カーソルを止め、通常のカーソル移動で反対側まで移動し、もういちど拡大・縮小操作を行ってください。
  8. Android のバージョンやアプリによって対応／非対応があります。また、指ではピンチアウト・ピンチインができてマウスではできない場合があります。
  9. ダブルクリックを長押し4回に設定している場合「ー・・・」と操作すると、接続先切換操作となり縮小操作を行うことはできません。「ー・・・」のように分けて(間を開けて)操作してください。また、長押し4回は下記のスワイプでも使用するので、ダブルクリックは長押し2回から3回に割り当てることをお勧めします。

## 7. スワイプ(ロック解除)

- Android でタッチパネルをさっとなでるスワイプ操作を代替します。
  1. スワイプ操作はほとんどの場合マウスのドラッグ操作で代替できます。ドラッグはクリック操作の長押し1回「ー」と、カーソル移動の短押し1回「・」を続け「ー・」と操作します。
  2. 一部のスマートホンで、スリープからの復帰時のロック解除が、ドラッグ操作ではできないことがあります。そのような場合はスワイプ操作を試してください。
  3. スワイプ操作は長押し3回または4回で行います。あらかじめ設定ソフトで「長押し3回の機能」または「長押し4回の機能」を「8:画面左上端にジャンプ」に設定してください。(追加した機能のため表示と実際の機能が異なります)
  4. スワイプ操作を行うと、高速のドラッグが一定距離だけ行われた後、ドラッグが解除されてカーソルが逆方向に同じ距離だけ移動します。
  5. スリープからの復帰時であればロック解除となり、通常操作時は画面がカーソルの移動方向にスクロールして別画面が現れます。
  6. スワイプの方向は直前のカーソル移動の方向と同じになります。たとえば表示されている右を見るために画面を左へスクロールしたい場合は、通常のカーソル移動でカーソルを左へ少し動かして止め、その後長押し3回または4回を行います。これにより画面を右から左へなでるスワイプ操作となります。

## 8. 設定ソフトの表示と実際の設定内容の対応

長押し3回の機能、長押し4回の機能

設定値	設定ソフトの表示	実際の設定内容
1	ダブルクリック	左ボタンダブルクリック
2	右クリック	右ボタンクリック
3	左右両クリック	スクロールボタン(中ボタン)クリック
4	直前の移動方向にジャンプ	直前の移動方向にジャンプ
5	画面右上端にジャンプ	画面左上端にジャンプ
6	画面右下端にジャンプ	画面左下端にジャンプ
7	画面左下端にジャンプ	スクロール(スクロールボタンドラッグ)
8	画面左上端にジャンプ	スワイプ(左ボタン高速ドラッグ)

## 9. ケータイ打ちモード

- スマートホンの文字入力をやりやすくします。
  1. スイッチを約2.4秒長押しするとブザーが鳴ってケータイ打ちモードになります。
  2. ケータイ打ちモードでは、スイッチ操作がそのまま左クリック操作になり、スマートホンで文字入力をトグル入力で行うときや、PCでスクロールバーを連続してクリックしたいときに使用します。
  3. スイッチ操作を約2.4秒行わないとブザーが鳴ってケータイ打ちモードから通常状態に戻ります。ケータイ打ちモードのありなしを選択するには、スイッチを長4回短4回「-----」と続けて押し続けて接続先切り換え状態にします。(接続先切り換え状態については「[4.接続先切り換え](#)」参照)
  4. 接続先切り換え状態でスイッチを長4回短3回長1回「-----」と続けて押し続けると、ケータイ打ちありなしが交互に切りかわり、ありのときはブザーが2回鳴り、なしのときは1回鳴ります。
  5. スイッチを短く1回押し続けると、通常状態に戻ります。
  6. 設定は電源を切っても保持され、次回も同じ設定で起動します。

## 10. 設定切り換え

- ワンキー・マウスはA、B2種類の設定内容を持ち、随時切り換えることができます。
- 起動時は設定Aで動作します。
- 設定Bで動作中に長押し5回で設定Bに切りかわります。(ブザーが2回鳴ります)
- 設定Bで動作中に長押し5回で設定Aにもどります。(ブザーが1回鳴ります)
- 設定ソフトなどで設定変更を行うと、設定Aで動作中は設定Aの内容、設定Bで動作中は設定Bの内容が変わります。
- 設定A、Bそれぞれの初期化とAB入れ換えができます。
  1. 操作スイッチを「-----」(長押し6回)と押ししてください。  
これは設定ソフトの起動操作ですが、設定ソフトなしで設定を行います。
  2. カーソルが上下左右に細かく動きます。カーソルが停止するまで10秒待ってください。
  3. 現在の設定を設定Aの出荷時設定(スピード遅め)と同じに初期したい場合、  
操作スイッチを「-----」(長押し5回)と押ししてください。
  4. 現在の設定を設定Bの出荷時設定(スピード速め)と同じに初期したい場合、  
操作スイッチを「-----」(長押し5回)と押ししてください。
  5. 現在の設定Aと設定Bの内容を交換したい場合(起動時の設定をBと同じにしたい場合)  
操作スイッチを「-----」(長押し5回)と押ししてください。

6. 3～5を行うと初期化／交換が行われ、ブザーが鳴って通常状態に戻ります。
7. 1の操作後「――」(長押し3回)を行うと、設定を変えずに通常状態へ戻ります。

## 11. コピー操作

1. 文字列などのコピーを行う場合は、ドラッグ操作(「・」)で選択を行います。
2. 数文字選択した後に横スクロールになってしまう場合は、ドラッグ開始後すぐに上下方向へ移動方向を変える(「・」)と選択動作が継続しやすくなります。
3. 選択がうまく行われない場合は、画面長押し(「――」)を試して下さい。
4. 選択後「――」でコピー動作、「――」で貼り付け動作が行われます。
5. Windows と Android では Mac 用設定をオフに、macOS、iOS、iPadOS ではオンにしてください。  
Mac 用設定の切り換えはスイッチを「――」(長7+短1)と押します。ブザーが2回鳴ればオン、1回ならばオフです。

## 12. 設定ソフトを起動できない場合

- Windows
  1. 「Windows によってPCが保護されました」と言う画面が出たら、「詳細情報」をクリックしてください。
  2. 「実行」ボタンが現れるので、クリックすると実行できます。
  3. 次回からはダブルクリックで直接実行できるようになります。
- macOS10.15 以降  
macOS10.15(Catalina)以降では設定変更ソフトが動作しません。Web アプリを使用して下さい。  
[16. 設定変更ソフト／Web アプリ参照](#)
- macOS10.14 まで
  1. ソフトを「アプリケーション」または「デスクトップ」にコピーしてください。
  2. ダブルクリックではなく右クリック(control+クリック)で「開く」を実行してください。
  3. 「...開いてもよろしいですか」という画面が出たら「開く」をクリックしてください。
  4. 次回からはダブルクリックで直接実行できます。

## 13. 起動時に「ピピピ」と鳴る場合

1. 起動時(PCを起動したときやUSBコードを差し込んだとき)に操作スイッチがオンになっていると、ブザーが「ピピピ」と短く3回鳴ります。
2. この場合、保存されている設定は無視され、一時的に一般的な設定(デフォルト)で動作します。
3. 設定を極端な値にしてしまい、設定ソフトの操作ができなくなったときは、操作スイッチをオンにして起動し、設定ソフトを操作してください。
4. 次に起動するときは、保存されている設定で動作します。
5. 操作スイッチとしてPPSスイッチ(ピエゾニューマチックセンサースイッチ)を使用している場合、センサーを操作していなくても起動時にオン状態になり「ピピピ」と鳴ることがあります。

## 14. スマートホン(iOS、Android)での使用

### ◇ Android スマートホン／タブレットとの接続

1. 接続にはスマートホンの USB コネクタ(microB または typeC)に合った USB ホストケーブル (OTG アダプタ)を使用します。
2. ワンキー・マウスに USB ケーブルを接続し、その先に USB ホストケーブルを接続します。
3. USBホストケーブルをスマートホンに接続します。
4. USBホストケーブルのスマートホンへの接続はいちばん最後に行ってください。
5. スマートホンの画面にマウスカーソルが表示されれば接続完了です。

### ◇ iPhone／iPad との接続

1. iOS(iPhone、iPodTouch)、iPadOS (iPad) 機器は iOS13/iPadOS 以降で使用できます。
2. 接続には Lightning - USB 3 カメラアダプタ(推奨)、Lightning - USB カメラアダプタ、USB-C - USB アダプタ(typeC コネクタの機器)または相当品を使用します。
3. 接続後アクセシビリティの設定を行ってください。  
iOS/iPadOS14.4 以降ではアクセシビリティの設定を行わなくても使用できますが、AssistiveTouch メニューやボタンカスタマイズ機能が利用できるため設定を推奨します。

4. 「設定」-「アクセシビリティ」をタップします。
5. 「身体および動作」の「タッチ」をタップします。
6. 「AssistiveTouch」をオンにします。

7. AssistiveTouch メニューボタンが表示され、スイッチを押してマウスカーソルが表示されれば完了です。  
(iOS のマウスカーソルは円形です)

8. AssistiveTouch メニューを開く、ホームへ戻るなどの操作を長押し3回または4回で操作できるように設定できます。  
「設定」-「アクセシビリティ」-「タッチ」-「AssistiveTouch」-「デバイス」-「OneKeyMouse Torino」で「追加のボタンをカスタマイズ」をタップし「ボタンをカスタマイズ」と表示されたら、以下の操作を行い、メニューから希望の操作を選択します。

ボタン1の設定を行うときは左クリック(長押し1回)

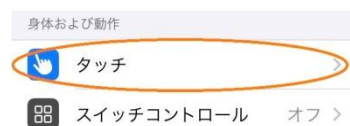
推奨設定: シングルタップ

ボタン2の設定を行うときは右クリック(長押し3回)

推奨設定: 副ボタンのクリック

ボタン3の設定を行うときはスクロールボタン(長押し4回)

推奨設定: ホーム



15. 設定ソフトを使用せずに設定できる項目

設定項目	設定内容	スイッチ操作		範囲
カーソルスピード		通常状態(カーソル停止)から		
	スピードアップ		----	
	スピードダウン		----	
	低速移動スピードアップ		-----	16段階
	低速移動スピードダウン		-----	16段階
	低速移動時間短く		-----	16段階
	低速移動時間長く		-----	16段階
	加速時間短く		-----	16段階
	加速時間長く		-----	16段階
Mac 用設定	Mac 用設定		-----	
接続先／節電 間引き送信／ オフディレイ		-----の後 (20秒以内に) 設定終了は .		
	接続先(PC/Android)		-----	4種
	ケータイ打ち		-----	あり/なし
	節電		-----	4段階
	間引き送信(Bluetooth)		-----	10段階
	オフディレイ		-----	8段階
初期化／入れ換え		-----の後 (10秒待つて) 設定終了は ----		
	遅めの設定に初期化		-----	
	速めの設定に初期化		-----	
	AとBの設定を入れ換え		-----	
スクロール	連続スクロール 速く		---	なし~
	遅く		-----	16段階

16. 設定変更ソフト/Web アプリ

- 設定の変更は Windows 版、macOS 版設定変更ソフトまたは Web アプリで行います。
- macOS10.15(Catalina)以降では設定変更ソフトが動作しません。Web アプリを使用して下さい。
- Web アプリは Chrome、Safari などの Web ブラウザ上で動作し、macOS、Windows の他に Android、iOS/iPadOS でも設定ができます。

<http://kikiroom.cool.coocan.jp/soft/ok7.html>



- 設定できる項目と内容は設定変更ソフトと Web アプリで同じです。
- Windows と macOS10.14 以前の Mac では、設定変更ソフトと Web アプリのどちらも使用できますが、Web アプリのほうが動作が安定しています。
- 詳細は「ワンキー・マウス設定ソフト[Web アプリ版]操作ガイド」を参照してください。
- セーフティモードでは設定変更ができません。また Ver.622 以前のバージョンのワンキー・マウスでは Android モードで設定変更ができません。一旦PCモードにして設定を行ってください。

(4.接続先切り換え、5.セーフティモード 参照)

## 17. 設定表示アプリ

- Web アプリ OKView により、ワンキー・マウスの現在の設定値を一覧表示できます。  
<http://kikiroom.cool.coocan.jp/soft/okview.html>
- Chrome、Safari、InternetExplorer などの Web ブラウザ上で動作します。
- 表示のみの機能で、個々の設定値を変えることはできません。
- 詳細は OKView 操作ガイドを参照してください。



## 18. オフディレイ（ばたつきキャンセラ）

- 小さい力で動作するスイッチを使用したとき、スイッチを奥まで押し切ることができないとき、手の震えなどにより、一回のスイッチ操作で複数回のオンオフ（ばたつき）が発生して意図しない動作となることを抑えます。
- オフディレイは、スイッチを離れたときに信号がオフになるのを一定時間遅らせる機能で、一回のスイッチ操作で複数回のオンオフが発生しても、信号を一回に抑える効果があります。
- スイッチを押したとき、一旦オンになると設定した時間より短いオフは無視され、オン状態が維持されます。
- スイッチを離れたときは、設定した時間以上オフの状態が続いた時点で信号がオフになります。
- 副作用として、スイッチ操作を素早く行った場合にもばたつきと判断して信号連結が行われてしまい、動作が緩慢になります。
- オフディレイの設定は、スイッチを長 4 回短 4 回「———……」と続けて押して接続先切り換え状態にします。
- 接続先切り換え状態でスイッチを長 4 回短 1 回長 1 回短 2 回「———・———」と続けて押すと、オフディレイの設定が順に変わり、ブザーが 1 から 8 回鳴ります。（出荷時設定は 1：なし）

ブザー [回]	1*	2	3	4	5	6	7	8
オフディレイ時間 [秒]	なし	0.04	0.06	0.08	0.10	0.15	0.20	0.30

- 設定は電源を切っても保持され、次回も同じ設定で起動します。

## 19. iOS モード

- iOS/iPadOS 機器 (iPhone/iPad) は PC モードのまま使用できますが、iOS モードに設定すると、8ボタンマウスとして動作するようになります。
- 4つ以上のボタンを利用したい場合やPCモードでスクリーンキーボードが消えて不便な場合は iOS モードを試してみてください。
- iOS モードにするには以下のように操作します。
  1. スイッチを「———……」(長 x4 短 x4) と押します。
  2. ブザーが「ピ、ピ、ピ…」と鳴ります。(20 秒間)ブザーが鳴っている間にもう一度「———……」と押します。
  3. ブザーが「ピロ、ピロ、ピロ…」と2回ずつ鳴ります。
  4. もう一度「———……」と押すと、ブザーが「ピロロ、ピロロ、ピロロ…」と3回ずつ鳴ります。
  5. ブザーが5回ずつ鳴るまで繰り返し「———……」と押します。
  6. スイッチを短く1回押すと iOS モードで起動し、次回からも iOS モードで起動するようになります。

- iOS モードから PC モードに戻すときは、上記の1から3を行い、スイッチを短く1回押してください。
- iOS モードと PC モードでは以下の点が異なります。

スイッチ操作	PC モード	iOS モード
---...-	コピー (Cmd+C) *1	ボタン4
---...·	貼り付け (Cmd+V) *1	ボタン5
-----	ホーム (Cmd+H) *2	ボタン6
-----	設定 / 設定内容表示	(なし) *3
-----·	キー入力「Z」*4	ボタン7
-----·-	キー入力「ろ」*4	ボタン8

\*1 iOS モードでコピー / 貼り付けは副ボタンのクリック(右クリック)で行います

\*2 iOS モードでホームは AssistiveTouch メニューまたはボタンへの機能割り当てで行います

\*3 設定は長押し6回でのみ起動できます

\*4 キー入力「Z」、「ろ」は macOS でキーボードの種類判別用です

- ボタン4～ボタン8は iOS/iPadOS でのみ利用できます。  
「設定」-「アクセシビリティ」-「タッチ」-「AssistiveTouch」で「デバイス」を選び「追加のボタンをカスタマイズ...」で設定してください。(詳細は別紙「iOS/iPadOS ボタン設定」参照)
- iOS モードでは、設定アプリを「-----」(長押し6回)で起動してください。長押し7回では動作しません。
- iOS モードでは、設定値確認アプリは動作しません。
- Bluetooth 接続では iOS モードに設定できません。(PCモードで使用します)

## 20. スクリーンキーボードの表示・非表示 (iOS)

Ver.662 以降

- iOS/iPadOS 機器 (iPhone/iPad) で、検索など文字入力を行う場面でスクリーンキーボードが表示されない場合は、「---...」(長長長短短)と押すと、スクリーンキーボードが表示されます。
- スクリーンキーボードが表示された状態で「---...」と操作すると非表示に切りかわります。
- iOS モードとセーフティモードではスクリーンキーボードの表示・非表示を切り換えることはできません。(外部キーボードとして認識されないため、スクリーンキーボードが表示されない現象は起こりません)
- 以前のバージョンで「---...」による左方向への右ボタンドラッグまたは左ボタンダブルクリック+ドラッグを使用していた場合は、いちど「---...」により右方向へドラッグを開始し、その後「..」で移動方向を切り換えてください。
- Ver.662～Ver.663 と Ver.626～Ver.648 (Bluetooth 版) では、右クリックを「---」(長押し3回)に設定している場合は 「---...」(長長長短短)、右クリックを「---」(長押し2回)に設定している場合は「---...」(長長短短)、右クリックを「-----」(長押し4回)に設定している場合は「-----...」(長長長長短短)と操作します。これらのバージョンでは Mac 設定をオンにしているときのみ有効です。

## 21. Ctrl キーを押しながらの操作

Ver.664 以降

- 「---...」(長長短短)と押すと、Ctrl キーが押された状態になります。
- その後、スクロール操作(「---」,「---...」)を行うと、Ctrl を押しながらのスクロール操作となり、スクロールではなく画面の拡大 / 縮小が行われます。(Android はフォトなど一部アプリで対応)
- Ctrl キーが押された状態は、スクロール操作を終了すると解除され、Ctrl キーはオフとなります。

- クリック操作やドラッグ操作の前に Ctrl キーをオンにすると、複数選択などができます。
- 以前のバージョンで「**←**」による左方向への右ボタンドラッグまたは左ボタンダブルクリック＋ドラッグ（ピンチイン・ピンチアウト）を使用していた場合は、いちど「**→**」により右方向へドラッグを開始し、その後「**←**」で移動方向を切り換えてください。
- macOS で、スクロール操作による画面の拡大／縮小は「設定」-「アクセシビリティ」-「ズーム機能」の「スクロールジェスチャと修飾キーを使ってズーム」を選択し「Control」を選択してください。
- macOS で、Ctrl キー＋クリックは右クリックとなり、複数選択は Command キー＋クリックで行います。ワンキー・マウスで複数選択を行いたい場合は、「設定」-「キーボード」-「修飾キー」で「OneKeyMouse Torino」を選択し、「Control キー」を「Command」に設定してください。  
「Command」は「Command」のままでさしつかえありません。  
この場合「スクロールジェスチャと修飾キーを使ってズーム」も「Command」に変えてください。
- iOS/iPadOS で、スクロール操作による画面の拡大／縮小を行う場合は、「設定」-「アクセシビリティ」-「ズーム」の「キーボードショートカット」で「キーボードショートカット」と「スクロールホイールでズーム」をオン、「ズーム領域」を「フルスクリーンズーム」にして、「ズーム機能」をオンにしてください。  
「カーソルに追従」と「スマート入力モード」もオンにすることをおすすめします。

◆ スイッチ操作一覧

・:スイッチを短く押す ー:スイッチを長く押す \*:設定ソフトで変更可能

太枠内の4操作を覚えれば他は組合せと応用です [A]:Android モード [S]:セーフティモードでは操作不可

スイッチ操作	カーソル停止時	カーソル移動中	備考
・	右*へ移動開始	右*へ曲がる	
ー	クリック	停止、ドロップ	
――	ダブルクリック*		[A]「ホーム」ボタン
―――	右クリック*/スクロール*		[A]「戻る」ボタン
――	ドラッグ 右*へ移動開始		クリック+右移動
・ー	低速で右*へ移動開始	速度切り換え	
・・	下*へ移動開始	Uターン	右折2回
・・・	左*へ移動開始	左*へ曲がる	右折3回
.....	上*へ移動開始		
―――	右ドラッグ*右*へ移動開始		右クリック+右移動
――	ピンチアウト・ピンチイン*		ダブルクリック+右移動
―――	スクロール*/スワイプ*		[A]「メニュー」ボタン
――	上へスクロール		ホイール
――	下へスクロール		ホイール
――	スピードアップ ①		[S]
――	スピードダウン ②		[S]
――	低速移動スピードアップ ③		[S]
――	低速移動スピードダウン ④		[S]
――	低速移動時間短く ⑤		[S]
――	低速移動時間長く ⑥		[S]
――	加速時間短く ⑦		[S]
――	加速時間長く ⑧		[S]
――	左ボタン長押し		[S]
――	コピー		[S] Ctrl+C/Cmd+C (Mac)
――	ペースト		[S] Ctrl+V/Cmd+V (Mac)
――	ホームへ戻る		[S] Win+Enter/Cmd+H (Mac)
――	第2の設定へ切り換え		[S][A]画面消し
――	設定ソフト操作		[S]
――	設定ソフト操作 (Web アプリ)		[S]
――	Mac 用設定		[S] macOS/iOS/iPadOS 用
――	Android/PCモード切り換え		
――	スリープ (節電)		
――	Ctrl キー		
――	スクリーンキーボード表示		iOS/iPadOS

ワンショット操作 (以下の操作のみ可能)

・:スイッチを短く押す ー:スイッチを長く押す

スイッチ操作	カーソル停止時	カーソル移動中	備考
・	カーソル移動開始	移動方向切換	通常動作と同じ
・・	左クリック	停止、ドロップ (ドラッグ中)	長1回「ー」と同じ
・・・	右クリック	速度切換	切換は移動中のみ可能
.....	左ダブルクリック	移動方向反転 (左-右、上-下)	
.....	ドラッグで移動開始	ドラッグ開始/終了	
ー	左クリック	カーソル停止	短2回「・・」と同じ
――	設定ソフト操作	なし	

ワンショット操作にするには設定変更ソフトで「長押し後連続操作時間」を「1」(最長)に設定します